



復興 15事業者の自慢の食材、 駅弁に凝縮

第6弾「東北復興弁当」お披露目試食会

「東北復興弁当」は、独立行政法人中小企業基盤整備機構東北本部（高村誠人本部長）が企画協力して開発しているもので、第6弾は国の地域産業資源活用事業計画および農産物加工振興事業計画に基づき、15事業者の自慢の食材を凝縮した駅弁です。

JR東日本管内で弁当などの販売を手掛ける御日本レスタウンエントプライズ（NR）と仙台交遊は、好評を博している駅弁「東北復興弁当」の第6弾を11月1日から発売した。これに先立ち10月31日、販売元である宮城県宮城野区宮城野の前試食会が宮城野区宮城野の宮城野市宮住宅（復興公営住宅）集会所で和やかに開催された。

「東北復興弁当」は、独立行政法人中小企業基盤整備機構東北本部（高村誠人本部長）が企画協力して開発しているもので、第6弾は国の地域産業資源活用事業計画および農産物加工振興事業計画に基づき、15事業者の自慢の食材を凝縮した駅弁です。

価格が1,150円（税込）で、販売期間は15年11月1日～17年10月31日（予定）。JR仙台駅「駅弁屋」をはじめNRE井当売店、東北新幹線（やまびこ）一部、車内販売、東京駅「駅弁屋」などで販売する。

仙台経済界 2017.3-2 90